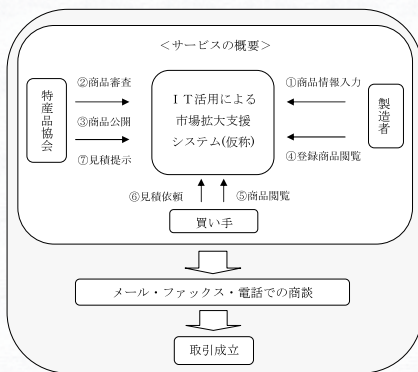


インターネットを活用して、いつでも商談可能

県産品の販路拡大や定番化促進を目的として、インターネットを活用し、商品情報をより早く的確に多くのバイヤーや仕入れ担当者に提供するとともに、流通関係者からの要望等を県内特産品製造者へフィードバックすることで商品の改良や新商品開発を促し、さらなる市場拡大を図るため、新システムを導入することとなりました。

本システムでは、事前登録した流通関係者等が、時間や場所を気にすることなく商品情報を（卸価格を除く）を閲覧し、商談することができまますので、ご登録いただき、販路拡大にご活用ください。



<商品情報入力から取引成立までの流れ>

九州新幹線全線開業3周年記念
「これぞKAGOSHIMA!」
自慢の逸品大発表会」の開催

鹿児島県、鹿児島商工会議所、鹿児島県商工会議所連合会と共催で、開業後に開発・改良された県産品等を一堂に展示・紹介し、県内外の消費者や流通関係者への認知度向上及び市場拡大を図るため、「これぞKAGOSHIMA!自慢の逸品大発表会」を開催します。

ぜひ、ご出展いただき、商品のブラッシュアップ、販路拡大にご活用ください。

（日時）平成26年2月27日（木）
10時～16時30分

（会場）かごしま県民交流センター

「自慢の逸品大発表会（展示会）」

（定員）120社
（参加料）無料
（内容）県産品の展示紹介、県産素材のマッチング、特産品モニター求評会など

「かごしま「食」のビジネス市場」

（定員）35社
（参加料）18,000円（税込）
（商談会）15社程度の県内外のバイヤー（百貨店・スーパー・卸売・通販等）



製造現場訪問時の指導助言の様子

本年6月よりこの仕事に従事することになり、様々な加工食品製造業者の方と接する機会を頂きました。製造業の方々には、日々の忙しさで問題を感じてもその解決に専念するゆとりがないところもあります。

先般、訪問しましたところでは、製品を何度も試作してみるが、製造後の時間経過とともに硬くなつて食感が悪くなるといった課題に直面しました。丁度、県農産物加工研究指導センターの研究成果発表会で、でん粉老化の抑制にも効果があるという「こなみずきでん粉」の情報を入手しており

ふるさと特産運動推進指導員の声

食品担当…岩重鈴美

ましたので紹介したところ、改善に近づくことができました。このでん粉は、いくつもの加工の場で利用が進みつつあります。このように製造業者の方が直面しておられる課題に対し、必要な情報を収集・提供して課題解決に役立てて頂くことこそ、私の重要な務めの一つと感しています。

また鹿児島では、優れた加工食品食材が作られています。殆どが中小の事業所であり、商談会参加や営業活動もままならないといった悩みもあります。そこで、これらの販路を地元の開拓できないかと県農政課との連携で始めたのが、「かごしま地産地消推進店」(本年10月末現在571店登録)へ配信する「いんぷおメール」に商品情報を掲載して頂くことです。掲載を希望される場合は、当協会にご相談ください。

これからも情報の収集・提供や機会を捉えて優れた商品情報を発信し、鹿児島の食品製造業の発展を支援してまいりますので、何かご相談がありましたら、ご連絡ください。